



# 大志



【学校教育目標】「よく学び、心豊かで、たくましい児童生徒の育成」

文責 浅利 進

猛暑や台風などの天災が続いた9月でした。被害を受けた方々は大変ですが、今後も前向きに生活してほしいと思います。「暑さ寒さも彼岸まで」と言いますが、9月中旬までのうだるような暑さが、やっと朝夕の中に秋らしさを感じてきました。2学期が始まってもう一カ月が過ぎ大きな行事を終え、いよいよ後半です。各学年では来年度に向け動き始めています。今年もあと3カ月です。皆さんの今年の目標は達成できそうでしょうか。

## 第67回瑞穂祭が開催されました！

今年度の生徒会最大行事である学園祭、「第67回瑞穂祭」が9月12日、13日の2日



間で開催されました。今年のテーマは「創造～392人で前へ進め～」で、今年も若草中学校の生徒が一丸となって学園祭を成功させようという気持ちがかもった良いテーマだと感じました。今年はゆっくりと長い夏休みを過ごしましたが、今年の夏は猛暑が続き、短い期間で取り組んだ合唱練習やグラウンドでの練習は大変でした。子どもたちの頑張りには感心するばかりでした。

まずは取組開始として行われた決起集会で代表生徒たちの掛け声で気持ちを確認しました。限られた時間でめいっぱい取り組んだ練習の後、開祭式・文化の部が桃源文化ホールで行われました。開祭式は、生徒会本部が制作した動画から始まり、生徒会長の開祭宣言、学級旗・全校制作の紹介と取組の成果が披露されるたびに盛り上がる生徒の様子を見て、やっぱり学園祭っていいなあと思ってしまいました。



文化の部の合唱は練習の成果もあり、どの学年も歌う姿が本当に素晴らしかったです。昨年度から本格的に「合唱の伝統」を掲げ、力を入れてきました。スローガンの通り、自分たちの合唱が創造できたでしょうか。うまく歌うというよりも、仲間と調和する（声を合わせる）ことが大切だと思います。そうすることで、成功した喜びは、何倍

にもなるでしょう。集団の力はこのような場面で発揮されることが分かったのではないのでしょうか。合唱っていいですね。昨年からホールで復活した全校合唱「大地讃頌」は、歌う前から感動していた生徒もいたと思います。これだけの人数で合唱することは、おそらく今後ないのではないかと思います。私も歌を聞きながら体が震える思いでした。この歌声こそ若中の伝統にふさわしいと感じ、素晴らしい時間を作ってくれた生徒の皆さんに感謝したいです。参観された、南アルプス市教育委員会の上田直人教育長からもお褒めの言葉をいただきました。また、今回本校の合唱



【家庭用】 カラー版は若中HPにアップしています



の講評をしてくださりました渡邊玲子先生も、若草中学生徒の頑張りに大きなエールを送ってくださいました。

2日目の体育の部は猛暑が予想されましたが、やや競技内容を変更し、爽やかな青空の下盛大に行われました。今年度は全学年が4クラスだったこともあり、色別ブロックの応援も盛り上がったと感じま



した。学年種目やブロック種目など、参加形態を工夫しながら行われました。強い日差しの中、汗びっしょりになって笑顔で参加していた生徒たちの姿に感動しながら時間を過ごせました。。競



技・競争ですから、当然順位や勝ち負けもありましたが、どの学級も結果に関わらず、いい笑顔でした。きっと、結果を超える仲間との取組と、精一杯競技したという満足感の表れだったと思います。

最後に行われた閉祭式は、生徒会本部役員や各学年から、この行事に向けての思いを全校生徒の前で発表できました。時間が限られ、でも最高の思い出を作りたいという

それぞれの葛藤の中で、準備や運営に力を尽くしたことと思います。本当にお疲れさまでした。体育の部の終了後から閉祭式の間には生徒展示を見学する時間がありました。家庭科部や美術部、パソコン部が工夫を凝らして創作した展示物が整然と並んでいました。クラスでの取組の後、苦労して作っていたと考えると、頑張ったんだなあという思いで気持ちが癒されました。もちろん各学年もしっかり展示してあり、見ごたえがありました。若草中学校の生徒の皆さん本当にお疲れさまでした。楽しかったですか？

この学園祭では、平日の文化の部も猛暑の体育の部も多く保護者の方に参観していただきました。本当にありがとうございました。保護者の皆様のご理解とご協力も、この瑞穂祭を成功させた力となっています。今後も子どもたちの笑顔のために、本校の学校教育へのご協力をお願いします。



### 小中連携、地域連携。

ここ何年か、若草中学校では小中連携について取り組んできました。生徒の皆さんは小中連携と聞くと、小学生と一緒に行事を行うことだと思ってしまうかもしれません。ただ、「連携」するためには同じことをするだけでなく、その取組によって互いを理解したり、より良い関わりについて考えることも必要なことなのです。ただ小学生の前で合唱したのではなく、小学生は成長した自分の将来について考え、中学生は自分たちの後輩に若草中学校の伝統や中学生としての凛とした姿を残していく、そんな取組になってほしいと思います。また、今



回行われた学校運営協議会においても委員の方から、学校の地域清掃のことや夏季休業中の生徒のラジオ体操参加についてもお話がありました。自分たちの故郷である若草地区が住みやすく、良い環境が作られるようなイメージをして、地域とも連携していきたいですね。